

# みらい

SINCE 1965



青梅市教育委員会 教育長 岡田 芳典

## 教育長挨拶



青梅市青少年委員制度発足50周年おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。  
東京都独自の制度として発足した青少年委員制度は、昭和40年に市町村へ移管されました。本市では、昭和40年3月30日条例設置とし、当初10人の委員を委嘱しました。その後の条例改正により現在では委員定数は16人となっています。

青少年委員の皆様には、地域におけるリーダー育成のほか、自主事業等により、青少年の健全育成のために御尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

教育委員会では、子ども達が、知性、感性、道徳心や体力をはぐくみ、郷土を愛する人間性豊かな市民として成長することを願い、教育の推進を図っております。

自然環境に恵まれた青梅市で、自然体験等の多様な体験活動や地域における交流活動を通じて協調性やリーダー性を育むとともに、子ども達の個性や想像力を伸ばす教育を推進していきます。

青少年委員の皆様には、引き続きお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びに、青少年委員の皆様の益々の御活躍と御健勝を御祈念申し上げ、お祝いのことばといたします。



### 青梅市青少年委員制度発足50周年を迎えて

青梅市に青少年委員制度が発足して50年がたちました。

協議会を長年支えてくださいました歴代の委員の皆さま、またご協力頂きました関係者の皆さまには感謝申し上げます。

さて、私が子どもの頃はおせっかいなおじちゃん、おばちゃんが近所におりました。悪さをすると怒られたり、何かあると心配してくれたり、時にはお菓子をくれたり、色々おせっかいを焼いてくれました。

地域で子どもを育てる、そんな時代でしたが、今は不審者問題等もあり、むやみに声を掛けることができなくなりました。昔とは環境が変わり、親の考え方や育て方も変わってきたのだと思います。

ただ、子どもと接している私達から見ると、子ども自体は昔も今も変わっておりません。

現在私達の行っている体験行事に参加してくれる子ども達は、いつも目を輝かせて楽しそうに体験しています。私達も、毎回子ども達と一緒に楽しく活動しています。

これからも青少年委員は、おせっかいなおじちゃん、おばちゃんに活動していきたいと思っています。



**ただいま活動中！！**

# 青少年委員ってなあに？

## 青少年委員制度について

1953年（昭和28年）に、東京都が青少年健全育成を目的とした「青少年委員制度」を発足させたことが始まりです。

昭和40年には、この制度が各市区町村へ移管されることとなり、青梅市では同年3月に「青梅市青少年委員の設置に関する条例」を施行して、青少年委員10名が委嘱され新たなスタートを切りました。

その後、小学校の開設等に合わせて委員の増員が行われ、現在は16名の青少年委員がそれぞれの小学校を担当しています。



昭和59年頃の活動の様子

## 青少年委員の位置付けと役割

青少年委員は、教育委員会が委嘱する「非常勤公務員」という立場に位置付けられています。青少年の健全育成や余暇の指導に特化した、臨時の市職員といったところでしょうか。

市内小学校の学区ごとに委嘱された青少年委員は、地域における青少年教育の中心的な担い手として、教育委員会および地域の関係機関と連携をとりながら、青少年健全育成を目的に活動しています。

また、教育委員会を事務局とした「青梅市青少年委員協議会」を各委員で構成しており、青少年育成に関連した自主事業の計画・立案や、委員のスキルアップを目的とした各種研修の実施、市外の青少年育成団体との情報交換などを定期的に行い、青少年育成の更なる充実に寄与しています。



ます釣りにチャレンジ

## 現在の活動状況

私たちは、以下の内容を中心とした活動を行っています。

- 地域で子ども達に参加できる行事や活動の紹介
- PTAや子ども会など、青少年関係団体相互の連携に関する連絡・調整
- 青少年対策地区委員会の一員として、青少年健全育成に関わる事業の企画・立案



集まれおうめっ子（竹の巻）

主なものとしては、「ます釣りにチャレンジ！！」（5月頃成木地区で実施）、「集まれおうめっ子」

（秋頃市内各所で実施）などの自主事業を始め、ジュニアリーダー講習会、ジュニアキャンプやナイトハイク（市民センター主催事業）といった地域行事への協力などを積極的に行っております。また、PTA主催や子ども会の活動などへも参加いたします。是非、青少年委員を身近に感じていただき、活動するうえで困ったときはどんどん相談に乗りますので、どうぞお気軽に声を掛けてくださいね！



梅郷子ふれあい塾

# 青少年委員活動の思い出

このコーナーでは、先輩委員や活動に参加してくれた卒業生の方々からのエピソードを交えながら、当時の活動の様子についてご紹介します。

元青少年委員協議会 副会長 **天野 俊寿さん** (H17年度～24年度在籍)

※ H23年度～24年度 多摩地区青少年委員会連絡協議会 会長兼任

## 青少年委員を経験して



青少年委員は、次代を担う青少年の健全育成・リーダー育成を目的に、現在は市から委嘱を受けた16名の委員が委員個々に、あるいは全委員で構成する市協議会単位で様々な活動を行います。

委員在職中は、青少年委員の職務から全ての活動は、社会教育の考えの上に立つて行うことを念頭に、活動の企画・運営を行ってきました。これは、時に行事の中で子ども達と衝突する場面にも繋がりますが、子ども達からは彼らと同じ目線で語り合い、遊び、共に創造ができる“少し不思議なおじさん”にも見られていた様です。

また、他地域の青少年委員との交流の機会を多く頂き、区部や多摩地区の委員との交流や、社会教育に関わる講演会等参加で、青梅だけでは得られない情報を得る中、特に多摩地区連合会では会長を拝命させて頂き、様々な経験と体験をしました。これらは、私自身の生活や子供の指導、仕事にも多く応用出来たことを覚えています。

現委員の皆様には“少し不思議な大人”としての活躍と共に、自身の成長のために青少年委員活動を楽しんでいただければと思います。

青梅市青少年委員制度発足50周年おめでとうございます。



青少年リーダー育成研修会 卒業生 **嶋田 有紗さん** (H16年～22年参加)



この研修会に参加して、青少年委員の方々から火のおこし方・テントの張り方・自然のものを材料にした工作など、普段の生活では経験できないことをたくさん教えていただきました。

研修生の頃は、活動中の悩みについて親身に聞いてくれたり、ふざけていたときや悪いことをしたときには叱ってくれたり、休み時間には一緒に遊んでくれたり、まるで、お父さん・お母さんのように接してくれました。

卒業後、補助指導者として研修会に参加したときは、研修生一人一人のことをよく見て考えてくれて、迷っているときには手を差し伸べて、あたたかく見守ってくれていたんだなと実感しました。

私たち研修生を大きく成長させてくれた存在です。



# 私たちが考える「これから」

子どもたちがいる限り、私たち青少年委員の役割が終わることはありません。ここで、現役委員に「これからの活動」について、一言コメントというかたちで寄せていただきました。



## 内田委員（一小担当）

子ども達が色々な事を体験できるように、私も勉強していきます！



## 久保委員（河辺小担当）

青少年委員の事業としてよい子からやんちゃな子まで参加できる研修をしたいですね。



## 広瀬委員（二小担当）

新しい遊びを覚えて、子ども達と一緒に楽しく過ごしたいと思います。



## 吉野委員（新町小担当）

子どもが子どもらしくいられる場所、プレーパークを青梅に作りたい。



## 増田委員（三小担当）

子供達のみらいのために、地域の方々と一緒に楽しく活動していきたいです。



## 高野委員（霞台小担当）

学校支援を考える時に、学校と社会教育の狭間にいるのがボクら？



## 平原委員（四小担当）

事業をこなすのではなく、新しいものも創造していこう！



## 奈良野委員（友田小担当）

この町の自然を身近に感じる体験を、子ども達と一緒にしていきたいです。



## 菅委員（五小担当）

地道な活動の中から 接した子ども達に 新しい発見があれば良いです。



## 潮田委員（今井小担当）

未来の地域リーダーが育つよう、大学生や大人たちと継続的な活動が出来たら良いですね。



## 柳澤委員（六小担当）

企画から実行まで子ども達だけで創り上げる、そんな事業をやってみたい。



## 青柳委員（若草小担当）

活動を通して子ども達が「明るく・楽しく・元気良く」豊かな体験ができるように努めたい。



## 橋本委員（七小担当）

様々な行事を通し、多くの事を経験出来る様未来へサポートをして行きます。



## 佐藤委員（藤橋小担当）

たくさんの体験を通して子ども達の成長を見守って行きたいと思います。



## 白井委員（成木小担当）

子ども達が、たくさんの経験をして、笑顔でいられるように全力でサポート！



## 浜中委員（吹上小担当）

50周年に携われ光栄です。今後も委員活動の充実に努めたいと思います。


 We are “青少年委員”



後列左から 柳澤委員・潮田委員・白井委員・内田委員・菅委員・久保委員・高野委員・増田委員・平原委員  
 前列左から 広瀬委員・奈良野委員・佐藤委員・浜中委員・吉野委員  
 右上枠内左から 橋本委員・青柳委員

50周年記念増刊号はいかがでしたか？「青少年委員」を少しでも身近に感じていただけたら幸いです。

これからの50年も、引き続き全力で頑張ってまいります！

学校や地域で子ども達の行事を計画するとき等、子ども達の育成活動に関する事なら、お気軽に何でも相談してください！！

編集 青梅市青少年委員協議会  
 発行 青梅市教育委員会 社会教育課  
 青梅市東青梅 1-11-1  
 TEL 0428-22-1111

青梅市青少年委員協議会広報紙「みらい」への御意見・御要望をお待ちしております。

〒198-8701 青梅市東青梅 1-11-1  
青梅市教育委員会 社会教育課 「青少年委員担当」まで